

光星 終盤に猛攻

一関学院の反撃かわす

第70回秋季東北地区高校野球大会は第1日の13日、福島県営あづま球場などで1、2回戦4試合を行った。県勢は本県第3代表の八学光星が4番長南の本塁打をはじめ終盤の猛攻で、一関学院(岩手県第3代表)を9-2の8回コールドで破り、2回戦に進出。一方、県大会を制した青森山田は利府(宮城2)を相手に7点を許し苦戦。9回に1番長尾が1点差に迫る走者一掃のタイムリーを放ったが、三塁で憤死しゲームセット。初戦で姿を消した。14日の県勢は2回戦で八学光星が能代松陽(秋田1)、弘前東(本県2)が由利工(秋田3)と対戦する。

第70回 秋季東北 高校野球

第1日

山が要所を締めた。9番秋山、4打点。八学光星の9番秋

きょうの試合

- (左のチームが一塁側)
- ▷2回戦
- ◇福島県営あづま球場
- 由利工-弘前東(9・0)
- ◇ヨーク開成山スタジアム
- 能代松陽-八学光星(9・30)

▽1回戦(福島県営あづま球場) 一関学院(岩手) 0000002020
01000023x9
八学光星(八回コールド) 幸田(一)
▽2回戦 俱井 近藤(八) 2点追いつけられた七回、長南の右越え本塁打で1点を加えると、押し出し死球や近藤の右前適時打で6-3。八回も押

4番・長南

古里で会心の一発



【一関学院(岩手)】八学光星、7回裏、八学光星は先頭打者の長南が右越え本塁打を放って4-2(福島県営あづま球場)

山が要所を締めた。9番秋山、4打点。八学光星の9番秋

八学光星の4番・長南は福島県出身、地元に住む親戚らが見守る中、古里の舞台で会心の一発を放ち初戦突破に貢献した。1点差に迫られた直後の七回、「流れを変えたい」と狙い澄ました本塁打。苦しい場面で生きる「芯の強さがある」からと、主将就任を勧めてくれた仲井監督の期待に応える一振りだった。先発成田が打ち崩された七回、先頭打者の長南は悪い流れを断ち切る「最高の形」を狙った。初球、思い切り引っ張った打球は右翼ポール際へ飛んでスタンドへ入ったが、ファウル。一体の開きが早い」と感じ、修正を図った4球目。狙い

悪い流れ断ち切る

球のスライターを今度はタイミングよく捉えた。「東北で一番、甲子園の優勝旗に近い」と信じた八学光星を選んだ。新チームの編成時、仲井監督は「人が嫌がることもきこつとやる。チームが苦しい場面でも仲間がついてくる」と、長南を主将に推した。嫌な雰囲気を一変させた一振りに、仲井監督は「流れを変える非常に大きな一打」と称賛した。14日の2回戦は、地元郡山市のヨーク開成山スタジアムが会場。中学時代に戦い慣れた「ホームグラウンド」と長南。勢いそのままにセンバツへの道を突き進めるか。(佐々木大輔)